

## 札幌市立高校 学校間連携プログラム 「グローバルリーダー育成オースタムキャンプ2022」開催要項

- 1 はじめに 現在、日本・世界を取り巻く環境は大きく変化を続けており、国や企業または個人が直面する課題の多くが過去に経験したことのない未知のものとなっています。この現状に対応すべく、国際社会で日々奮闘する講師陣を招き、日本と世界、技術革新と支援について学び、対話型のレクチャーを通して「世界で活躍するために必要な教養や創造力」を身につけることをねらいとします。  
この研修は、今年度で第7回を迎えますが、一昨年度より市立高校学校間連携プログラムとして各校から、参加者を募集することとなりました。（※本研修は、日本語で行います）
- 2 日 時 2022年9月17日(土) 10時00分～9月19日(月) 12時00分まで  
(初日の集合時間：9時30分/1階ロビー)
- 3 会 場 産業技術教育訓練センター（札幌市中央区円山西町6丁目4番51号）  
(電話) 011-641-0404 (FAX) 011-612-9895
- 4 対 象 札幌市立高等学校および中等教育学校（後期課程）に通う生徒（高校1・2年生対象）
- 5 定 員 25名（申し込み多数の場合は、幹事校で抽選といたします）
- 6 申込締切 2022年8月1日（月）までに、下記のサイトより、申し込みを完了してください。  
「札幌市立高校ポータルサイト/各種申込一覧」 <https://ichiritsukoukou.jp/staff/>  
※必ず保護者の承諾を得てください
- 7 参加者の確定連絡  
夏休み明けに、各校担当者よりご連絡（8月18日以降）いたします。
- 8 研修代金 23,000円を予定（2泊6食/1日目～昼夕食・2日目～朝昼夕食・3日目～朝食）  
(参加者確定後、研修代金をご連絡します。代金は、8月31日（水）までに、各校担当の先生に提出してください。※現地までの交通費は、各自実費を負担していただきます)
- 9 研修内容 プログラム構成の趣旨
  - 目的1: 意見を持って議論をする  
各コマのテーマについて、意見を持って議論をしましょう。その体験を通じて、「議論の方法」と「議論の楽しさ」を知ることが今回の目的のひとつです。目的の達成に向けて、参加者全員が以下の順でステップを踏んで行くことを目指します。
    - ①個人レベルでの取り組み
      - (ア) 意見を出すこと・自分の思うことを発言すること
      - (イ) 意見の根拠を明確に説明すること
      - (ウ) 意見に説得力を持たせること
    - ②個人レベルの意見が複数提示され、議論が発生するときの取り組み
      - (ア) 人の意見を聞いて自分の意見との同じ点・異なる点を理解すること
      - (イ) 意見が異なる理由を理解すること・そのための問いを発すること
      - (ウ) 複数の意見を要約すること
    - ③複数の意見が出て議論が展開していく時の取り組み
      - (ア) 議論の前提・目的を明確にすること
      - (イ) 議論の全体像を整理すること
      - (ウ) 異なる意見を受けて次の議論を展開するための論点を整理・設定すること
  - 目的2: 各コマで扱うテーマを通じて教養を深める  
今回のプログラムの中では、講師自身が社会人になった後に「もっと勉強し、考えておく時間があれば良かった」と痛感したテーマや、自分の仕事の中で直面してきたテーマを扱い議論をします。いずれも、普遍的な正解があるものではなく、色々な角度から物事を考え、自分なりの意見を持っていることが大切になってくるテーマです。

日 程		プログラム / 扱うテーマ	備 考
1 日目	10:00 - 10:30	イントロダクション	全体主旨・内容紹介
	10:30 - 10:45	参加者自己紹介	講師・生徒自己紹介
	10:45 - 11:00	講義 1：議論する目的の理解 (小山)	
	11:00 - 12:00	意見出しゲーム (第 1 回)	
	12:00 - 13:00	昼食	
	13:00 - 13:30	休憩	
	13:30 - 15:00	プログラム①：社会課題としての気候変動 (佐野)	
	15:15 - 16:30	講義 2：意見の持ち方／建設的な議論の方法 (小山)	
	16:30 - 17:00	休憩	
	17:00 - 18:30	映画鑑賞	「12 人の怒れる男」
18:30 - 19:30	夕食		
19:30 - 21:00	座談会 (講師のこれまでの国際経験などを紹介)		
2 日目	09:00 - 10:00	プログラム②：海外から見た日本 (豊田)	ジンバブエからオンライン
	10:15 - 11:15	意見出しゲーム (第 2 回)	
	11:15 - 12:00	プログラム③：映画の解説 (小山)	
	12:00 - 13:00	昼食	
	13:00 - 14:30	プログラム④：国際協力の世界 (佐野)	
	14:30 - 16:00	プログラム⑤：Appreciative Inquiry を通じて自分の可能性を探る (森川)	
	16:30 - 16:45	休憩	
	16:45 - 17:30	講師の仕事 (講師全員)	
	17:30 - 18:30	意見出しゲーム (第 3 回)	
	18:30 - 19:30	夕食	
19:30 -	何でも質問会		
3 日目	08:30 - 09:00	個別フィードバック	
	09:00 - 10:30	プログラム⑥：リーダーシップ (小山)	
	10:30 - 12:00	意見出しゲーム (最終回)	
	12:00 - 12:30	リフレクション・ラップアップ	
終了後	昼食会 (有志)		

10 単位認定 単位認定となるかどうかは各高校の規定によります。各校担当の先生におたずねください。

- 11 講師紹介
- ・豊田 雅朝 (とよだ まさと) 氏  
国際協力機構(JICA)勤務。青年海外協力隊参加や北海道大学等での勤務経験、フィリピン、アゼルバイジャン、ベトナム、バングラデシュなどの駐在経験あり。2022年からはJICA ジンバブエ支所で勤務予定。主に日本のODA (政府開発援助) に携わる。フィリピン Asian Institute of Management 修士。当日は、ジンバブエよりオンライン参加。
  - ・小山 朝英 (おやま ともしで) 氏  
株式会社世界市場、取締役COO (Chief Operations Officer = 最高執行責任者)。国際協力機構 (JICA)、ボストン・コンサルティング・グループ、大手商業銀行での勤務経験後、現在は農産物の輸出事業に従事。東京大学大学院・ストックホルム王立工科大学修了。
  - ・佐野 悠一郎 (さの ゆういちろう) 氏  
Beyond Next Ventures 勤務。国際協力機構 (JICA) でサブサハラ・アフリカ各国とインド向け経済協力を従事。インド事務所では3年半勤務。現在は、ベンチャーキャピタルで未来を創るスタートアップに投資し、ファイナンス×社会課題解決をテーマとしている。ハーバード大学ケネディスクール修了。
  - ・町田 英之 (まちだ えいじ) 氏  
公認会計士・税理士。国際協力機構 (JICA)、PricewaterhouseCoopers、大手金融機関での勤務経験あり。現在は独立し M&A、財務、会計、監査業務に関与。慶応義塾大学卒。
  - ・藤田 恵理 (ふじた えり) 氏  
国際協力機構(JICA)勤務。モンゴル事務所での4年間勤務し、保健、教育、社会保障セクター事業総括、2022年5月に帰国したばかり。現在は企画部にて JICA の経営戦略策定担当。インドネシアに1年留学経験あり、神戸大学大学院卒経済学修士。

12 感染症対策について  
研修会場の「新型コロナウイルス対応ガイドライン」(下記アドレス)に基づき、対策を講じたうえで研修を進めます。(http://www.gourikakyoukai.or.jp/coronaguideline.pdf)

- 13 備 考
- ・本研修の引率および業務は、幹事校の市立札幌開成中等教育学校の教職員が担当します。
  - ・当日は自由な服装で構いません
  - ・食物アレルギー・常用薬・その他の留意事項は事前に各校担当者にお知らせください。
  - ・部屋割り、各部屋2人を予定しています(当日ご連絡いたします。変更可)。
  - ・洗面用具・タオル等は各自ご準備ください。

14 お問合せ 【幹事校】 市立札幌開成中等教育学校 (札幌市東区北22条東21丁目1-1)  
(電話) 011-788-6987 (FAX) 011-781-5629  
担当: 教諭 澤谷 明憲 (携帯) 090-5070-3619  
引率予定者: (開成) ベルショー・トーマス / 三上 全 / 澤谷明憲  
※当日の連絡は、担当者(開成: 澤谷先生) もしくは会場までお願いします